

- 問1 明治政府が「文明開化」という社会現象を後押しし、急速な西洋化を進めた大きな目的は何ですか。 (2026年 栃木県公立入試 類似)
- 隣接するアジア諸国との友好関係を深め、東アジア共通の文化圏を創るため。
  - 農業を国の中心産業に据え、農民の生活を安定させて一揆を防ぐため。
  - 日本が近代国家になったことを欧米諸国に示し、不平等条約の改正を有利に進めるため。
  - 江戸時代の伝統文化を完全に消し去り、天皇の権威を否定するため。
- 問2 1873年（明治6年）に明治政府が実施した地租改正について、従来の年貢の仕組みを廃止し、地券の調査を完了させた際に出された法令の内容として正しいものはどれですか。課税の基準、税率、納税方法の組み合わせとして適切なものを選びなさい。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
- その年の収穫高を基準とし、その3%にあたる額を米で納める
  - その年の収穫高を基準とし、その3%にあたる額を現金で納める
  - 土地の価格である地価を基準とし、その3%にあたる額を現金で納める
  - 土地の価格である地価を基準とし、その3%にあたる額を米で納める
- 問3 1867年に大政奉還が行われた翌年の1868年、京都の鳥羽・伏見において新政府軍と旧幕府軍の間で武力衝突が発生しました。その後、約1年半にわたって全国各地で繰り広げられ、近代国家形成の大きな転換点となった戦争の名称を選びなさい。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)
- 下関戦争
  - 西南戦争
  - 戊辰戦争
  - 禁門の変
- 問4 明治政府が1873年（明治6年）から実施した地租改正について、その制度の内容を正しく説明しているものはどれですか。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)
- 土地の面積に応じて納税額を決定し、例年通り収穫された米によって納めさせた。
  - 江戸時代の年貢よりも負担を減らすため、地価の1%を現金で納めさせた。
  - 農村の階級格差をなくすため、すべての土地を国有化して政府が管理するようにした。
  - 土地の所有者に地券を交付し、収穫量にかかわらず地価の3%を現金で納めさせた。
- 問5 1860年代の日本の歴史をまとめた年表において、徳川慶喜が政権を朝廷に返した「大政奉還」の直後に位置づけられる、天皇を中心とした新政府の樹立を宣言した出来事を選びなさい。 (2018年 愛媛県公立入試 類似)
- 版籍奉還
  - 五箇条の御誓文
  - 王政復古の大号令
  - 廃藩置県
- 問6 1871年に実施された廃藩置県により、明治政府は中央集権体制を確立しようとしてしました。この際、新たに設置された府や県を統治するために行われた措置として正しいものはどれですか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
- 各府県の住民による直接選挙を実施し、公選によって選ばれた代表者に統治を任せた。
  - 旧藩主をそのまま知事として世襲させ、各地域独自の法律による統治を認めた。
  - 中央政府から直接任命された府知事や県令を現地に派遣し、行政を行わせた。
  - 地方の有力な士族の中から話し合いで選出された人物を、臨時の地方官に任命した。
- 問7 岩倉使節団が派遣された1871年の翌年には、欧米の技術や機械を導入した富岡製糸場が建設されました。このように、使節団の視察結果などを活かし、政府が欧米の技術を導入して国内の産業を育成しようとした一連の政策を何と呼ぶか。 (2019年 滋賀県公立入試 類似)
- 版籍奉還
  - 殖産興業
  - 文明開化
  - 地租改正
- 問8 1872年（明治5年）は、日本で初めて新橋・横浜間に鉄道が開通した年ですが、この年に行われた近代化に向けた取り組みとして適切なものはどれですか。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
- 群馬県に官営模範工場の富岡製糸場が設立された
  - 全国の藩を廃止して県を置く廃藩置県が実施された
  - 学制が公布され、小学校での教育が開始された
  - 満17歳以上の男子に兵役の義務を課す徴兵令が出された
- 問9 江戸時代後期から末期にかけての税制度では、年ごとの収穫量の増減に応じて納める年貢の量が激しく上下し、政府の収入が非常に不安定でした。明治政府が行った地租改正には、このような状況を改善し、近代国家を運営するための基盤を作る目的がありました。その目的として最も適切な説明を選びなさい。 (2025年 岡山県公立入試 類似)
- 農民の負担を大幅に軽減し、欧米諸国のような自由な農業経営を促進すること
  - 土地の所有権をすべて国に帰属させ、小作料を直接政府が徴収する仕組みを作ること
  - 収穫量にかかわらず、地価を基準に課税することで、安定した国家の財政収入を確保すること
  - 物価の変動に対応するため、米ではなく当時の国際通貨であった金で直接納税させること
- 問10 明治政府は近代国家の建設を進める中で、1872年に琉球藩を置き、1879年には武力を背景にこれを廃止して新たな県を設置しました。この一連の政策を「琉球処分」といいますが、このとき設置された県として正しいものを選んでください。 (2017年 北海道公立入試 類似)
- 長崎県
  - 鹿児島県
  - 山口県
  - 沖縄県
- 問11 明治維新が進むなか、都市部を中心に欧米の文化や生活様式が取り入れられ、社会が急速に西洋化した現象を何と呼びますか。 (2026年 栃木県公立入試 類似)
- 殖産興業
  - 版籍奉還
  - 富国強兵
  - 文明開化
- 問12 明治政府が実施した地租改正において、それまでの江戸時代の年貢の納め方と比較して、税の基準と納入方法がどのように変更されたか、最も適切なものを選びなさい。 (2026年 福岡県公立入試 類似)
- 土地の価格を基準とし、現金で納めるように変更された。
  - 収穫高を基準とし、米で納めるように変更された。
  - 土地の面積を基準とし、米で納めるように変更された。
  - 収穫高を基準とし、現金で納めるように変更された。
- 問13 明治維新の初期に行われた政治改革の年表において、1869年の「版籍奉還」に続き、1871年には藩を廃止して県を置く大規模な改革が実施されました。この一連の改革によって、地方の統治権を天皇を中心とする政府に統合した政治体制を何と呼びますか。 (2026年 静岡県公立入試 類似)
- 封建体制
  - 中央集権体制
  - 地方分権体制
  - 幕藩体制
- 問14 1873年（明治6年）、征韓論を主張する西郷隆盛らと、それに反対する大久保利通らの対立によって西郷らが政府を去った「明治六年の政変」が起きました。大久保らが征韓論に反対した主な理由として、正しい説明を選びなさい。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
- 武力による対外進出よりも、国内の制度整備や条約改正を優先すべきだと考えたから
  - キリスト教の布教を認めることで、欧米諸国からの信頼を勝ち取ろうとしたから
  - 朝鮮との不平等条約を維持することで、日本の貿易を有利に進めたかったから
  - 朝鮮との対立を避けるために、江戸幕府以来の鎖国政策を維持すべきだと考えたから